

研修報告書 No. 9

研修先： 土佐市民病院

今回、私は土佐市民病院での地域医療研修を行いました。私は関西圏で研修医として日々研修を行なっていますが、個人的に高知県への馴染みが深く、高知県はある程度の土地勘がある地域でありました。そういった地域での地域医療、特に他施設との連携や地域での医療施設としての立ち位置などを実際の現場で研修して体感したいという理由から土佐市民病院を選択しました。また、現在自分が研修している病院が大学病院であり、市民病院という公的な側面を持つ総合病院の役割についても大変興味があり、選択しました。

実際の研修では、救急対応から外来、病棟業務まで幅広く経験することができ、自分で治療方針を決定することも多く、非常に勉強になる1ヶ月間でした。方針決定に困った際も気軽に指導医の先生方に相談できる環境であり、自身の外来から他科の先生へ相談する必要がある際にも、フレキシブルに対応してもらえました。また、疾患についても丁寧に教えていただき、非常に良い経験となりました。

救急外来や内科外来で研修する中で、様々な患者さんとコミュニケーションをとる機会がありましたが、土佐市に限らず、周辺地域の患者さんも非常に多かった印象です。立地から、土佐市より西側の地域からの救急患者も多く、高知市の中心地から離れた地域の医療においても重要な役割を持っているということを実感しました。

また、例えば、夜間帯に整形外科の医師が当直している場合などでは、骨折等が疑われる患者さんが高知市内から土佐市民病院へと運ばれてくることもあり、高知県中心部から離れた地域だけではなく、高知県全体の医療において非常に重要な役割を果たしていることを実感しました。

市民病院という特性上、公共性も求められるため、市民の医療の中心となっていることも印象的でした。患者さんの中には高知市内の病院で診てもらっている方もいましたが、症状が安定すれば、市民病院でフォローを続けていることも多く、市内の一般的なクリニックではフォローが難しい患者さんを診る上でも非常に重要な病院であることを実感しました。

今回の研修中に印象に残ったことも多くあります。例えば、マムシ咬症を夜間救急外来にて対応しましたが、自身が勤めている大学病院では経験できる機会が非常に少なく、貴重な経験となりました。このような都市部では貴重な事例を経験できることも地域研修ならではだと思います。

今回の研修で一番印象に残ったのは血管炎と診断した一例でした。今回の研修中はCOVID-19 感染症が非常に流行しており、発熱症状の患者さんを外来で診ることが多かったのですが、その中で2回の外来受診で原因が判然とせず、入院による精査にて血管炎と診断に至りました。このように、COVID-19 のような一般的な症例に混じって、見逃してはいけな

いような症例を自身の外来で経験することができ、また、地元根付いた市民病院という病院の中で、初診の患者さんを数多く診ることができ、非常に今後生きる経験をすることができました。

様々な経験をさせていただき、また、気軽に相談できる環境を提供していただきました土佐市民病院にこの場を借りて感謝をお伝えしたいと思います。1ヶ月間大変お世話になりました。